

令和8年度 第1回学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 長良特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年6月3日(水) 10:00~12:00
- 3 開催場所 長良特別支援学校 プレイルーム
開催にあたり、委員による校内見学と授業参観、学校紹介動画の視聴を実施した
- 4 参加者
- | | | |
|-----|--------|-----------------------|
| 会長 | 井澤 尚子 | 長良医療センター 主任児童指導員 (欠席) |
| 委員 | 永井 裕也 | 岐阜聖徳学園大学 教育学部 准教授 |
| | 安藤 由美子 | 長良園芸 |
| | 酒井 勉 | 長良東公民館 館長 |
| | 土屋 雅哉 | PTA会長 |
| | 森 智之 | 生活介護事業所 アートフィールド 所長 |
| | 白木 祥子 | 地域代表 主婦 |
| | 下平 悦子 | 長良医療センター 医療社会事業専門職 |
| 学校側 | 井原 誠 | 校長 |
| | 不破 明美 | 教頭 |
| | 田村 由美佳 | 事務長 (欠席) |
| | 河野 美由紀 | 小学部主事 |
| | 毛利 久美子 | 中学部主事 |
| | 寺澤 康德 | 高等部主事 |
| | 落合 さや香 | 教務主任 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校運営基本方針について

- ・令和8年度学校概要及び学校運営方針、校務分掌組織の説明

(2) 教育活動の実際について

- ・小学部の教育活動
- ・中学部の教育活動
- ・高等部の教育活動

意見1：小学部1年生から通学をしている子が、入学時は歩けない状態であったが、先生方の手厚い支援により、現在では普通に歩いている。子どもたちにとって学校の存在に大変感謝している。また、病弱児への緊急時の対応や医療的ケアの体制が他校より充実しており安心している。だからこそ、看護師の確保については維持をし、子どもたちの安全安心を守ってもらいたい。

意見2：初めて学校や授業の様子を見学したが、一人一人の実態が大きく異なり、それぞれに応じた対応が必要であると感じた。

意見3：重度の障がいがあっても、多様な進路先や卒業後の生活がある。学校の説明を聞いて、卒業後について希望を感じた。誰もが自分らしく豊かに生きていくことが大切であると考え、アートの特化した事業所を運営している。障害種に関わらず一人一人に合った環境を整え、本人が大切にしていることを生かして作っている。そのようにがんばっている利用者の姿やギャラリーを見に来てもらえるとありがたい。

別紙様式 3

- 意見4：卒業後の生活や仕事のことについて気になる。生きていくために仕事をしている、体調の変化があるなどあっても言い出しにくい場合がある。日頃から、児童生徒が「助けて」と言えるよう、どのような支援をしているか知りたい。
- 意見5：丁寧に対応してもらっていて、病院としてもありがたい。当校の学籍の児童生徒ではないが、現在課題を抱えている事案として疾患の受け入れがある。自分で病気のことを調べる中で、学校へ行くことや受診することに対してネガティブになるケースがある。病識理解について工夫されていることがあれば教えてほしい。
- 意見6：・医療サポートの充実が大切であると感じた。また、コア・スクールや研修の取組が日々アップデートされており素晴らしい。
- ・「つながる」取組については、企業としてドリームアート展や作業製品販売会、ワークショップ、メッセージ交流等を通して、学校と多くの方をつなぐ場となれた。また、地域の行事として清流マラソンのランナーに対しての作品を通した応援は、学校を知ってもらう機会になったことに加え、児童生徒が応援する立場になるという点でもよいつながりの場になった。
- 意見7：・昨年度の意見がしっかりと検討され反映されていることを実感した。
- ・学校運営の基本方針を受け、重点目標としてICT機器の活用については、教員の児童生徒に対する働き掛けや工夫が大切である。また、実態把握を十分に行って取り組む事柄である。
 - ・個別の指導計画や個別の教育支援計画について説明等を含め、文言として示されていない点が気になる。個別の指導計画や個別の教育支援計画は教育の根幹であり、それぞれの充実について検討され、在り方について立案や活用等を入れていけるとよい。
 - ・学習指導要領で示される「インクルーシブ教育の推進」に対して、病弱特別支援学校としてどのように貢献していくか。校内職員での意味づけや、情報を共有し整理することが必要とされてくる。

(3) 作業製品の価格について（作業製品価格審査会）

- ⇒中学部：学部教材費で材料を購入し、販売価格は、売上額が原材料購入費を超えない範囲で設定している。
- ⇒高等部：県費で原材料を購入している。販売価格は、市場価格と原材料費をもとに設定している。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、出席委員全員より今年度の当校の学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・学校運営方針や各部の取組状況等については、それぞれの立場から学校や児童生徒とのかかわりを交えながら多角的かつ肯定的な理解や評価を得た。
- ・看護師の配置や医療的ケア、生徒理解、卒業後に向けた指導や支援、地域とのつながり、学習指導要領に係る病弱教育等、学校の存在意義に関する多くの意見が出された。
- ・作業製品価格審査会では、生徒の作業製品価格について出席委員全員より承認が得られた。
- ・第2回では、当校の学校安全（防災・緊急時対応、医療的ケアの実際）、生徒理解、関係機関との連携を中心に、学校運営の状況について経過及び成果、課題等を報告する予定である。あわせて、インクルーシブ教育の推進に向けて病弱特別支援学校としてどのように貢献していくかについても整理を進め、報告する。